

広報誌名「はくほうWalker」
はくほう会セントラル病院は地
域住民や患者様と共に歩むとい
う想いが込められています。



はくほう *Walker*

No. 11



今年の新入職員

診療科紹介：泌尿器科

部署紹介：看護部（東棟）

病院機能評価受審に向けて

新型コロナワクチン接種のご案内

当院でのコロナワクチン接種状況

今年の新入職員

(医局)



泌尿器科
川端 岳先生

2022年4月より泌尿器科が新設され、常勤として赴任した川端 岳と申します。今のところ外来は月、火、木曜日の午前診察をしています。最近はだいぶ「泌尿器科」がどのような診療をしているかが一般の方々に知られるようになって来ているようですが、まだまだ内科や外科、整形外科などの科と違い知らない事が多く、また「泌尿」という字の感じからも受診しづらいと感じられる人が多いかと思います。本誌の泌尿器科紹介ページにて詳しくご説明させていただきます。



外科
金成泰先生

今年5月よりはくほう会セントラル病院外科に着任しました、キムです。患者さんの病状に見合った適切な手術をさせていただきます。腹腔鏡手術も開腹手術も出来る体制を整え、外科の地域医療に貢献・邁進していく所存です。現在の消化器外科臨床において腹腔鏡手術の占める割合は以前より増加して来て居ります。疾患としては、胃癌・大腸癌などの悪性疾患や、胆石胆囊炎・鼠径ヘルニア・虫垂炎・穿孔性腹膜炎などの良性疾患も対応させて頂きます。どうぞよろしくお願ひいたします。



リハビリテーション科
塩川 泰啓先生

6月に入職致しました塩川です。今まで麻酔科、集中治療科、一般内科での診療を行ってまいりましたが、この度リハビリテーション科医師として回復期病棟に勤務することとなりました。

スタッフの皆様に支えてもらいながら、より良い医療を患者さんに提供していきたいと思っております。



整形外科
稻荷 知満先生

2022年4月より整形外科医師として勤務しています。これまで膝の人工関節の手術を中心にその他の関節や骨折などの外傷の治療に関わって参りました。これまでの経験を活かしつつ新しいものも適宜取り入れながらよりよい医療が提供できる様日々心がけていきます。



(地域連携室)

患者さんに寄り添い明るく元気で笑顔が絶えないソーシャルワーカーになります。いつでも、話しかけて下さい。

(医事課)

明るく笑顔で患者さんと接することが出来るよう頑張ります。



(栄養課)

中央棟3階を担当しているので、気軽に声をかけて下さい！！



管理栄養士を目指しているので、まずは栄養士として日々頑張ります！



(リハビリテーション部)

元気よくフレッシュで
みんなを盛り上げていきます。
(中央棟5階リハ)



皆さんを笑顔にします。
(東棟・地域リハ)



楽しく明るく頑張ります。(中央棟4階リハ)



やる気に満ちています！
(中央棟3階リハ)



(看護部)

幅広い知識や技術を学び、
地域に密着した看護師になれるよう頑張ります。



何事にも迅速に対応し、
患者さんにとって安心できる存在の看護師になれるよう頑張ります。

できないことの方が多い
ですが先輩に教えてもらいながら一生懸命頑張りたいと思います。
患者さんに寄り添える看護が出来るようがんばります。



精一杯、一生懸命頑張りますので
よろしくお願ひします。



できることを増やせるよう
頑張ります。



入職して半年が経ち、忙しいながらも充実した毎日を送っています。



患者様の立ち場に立って日々関わっていきたいと思っています。

不安もありますが、毎日
頑張りたいと思います！



これからよろしくお願いします！！

4月より開設されました泌尿器科について
は次ページへ！

泌尿器科

開設のおしらせ

2022年4月よりはくほう会セントラル病院に泌尿器科が新設されました。
毎週月・火・木・金曜日の午前が外来診察日となっております。



(※1)

泌尿器科特有の検査

尿の出が悪い、回数が多い、尿が残った感じがある、尿が漏れるなどの症状がある場合

お話しを聞き、尿検査の結果を見て次は**お腹の超音波検査**を行います。下腹部は膀胱や前立腺を、上腹部では腎臓や副腎を調べます。この検査で腎臓の結石や腎臓の腫瘍、腎臓の腫れ、膀胱の中の腫瘍や前立腺の腫れ具合などが分かります。

当科では基本的に診察の前に尿の検査を提出して頂きます。一般的な尿検査はテストテープを尿に浸して尿の中に糖や蛋白が出ていないかを調べるのですが、当科では「沈渣」と言って尿の中に白血球や赤血球や異常な細胞が出でないか顕微鏡を使って調べる検査も行います。この検査と症状を聞くだけで多くの病気（膀胱炎、腎盂炎、前立腺炎や性感染症など）の判別が出来ます。残りの尿は必要に応じて細菌検査や細胞検査に追加で提出します。



(図2)



(図3)

には、世界共通の症状スコアという点数表を記載して頂きます。そして実際の尿の出かたを調べる検査（尿流量測定と言います）を受けて頂きますが、一見普通のトイレと同じもの（図1）に普段通り排尿するだけで具体的なデータが出来ます。排尿が終わったら尿が膀胱に残つていなか器具をお腹に当てて調べます（図2）。これらの検査で前立腺肥大症や過活動膀胱などの診断をする事が出来ます。



(図4)

手術などに関する

前立腺癌の診断のための牛
検検査などの小手術を行つて
いますが、当院では常勤の麻
酔科医が在籍しておりますの
で、安心して受けて頂くこと
が出来ます。

尿が全く出せなくなつた状態では尿を体外に導く管を入れたり、尿道が細くなつていて尿道を拡げたりして状態が楽になるようにしました。**尿漏れ**の患者さんは**干渉低周波による尿失禁治療**（図4）を受けて頂くことがあります。肩こりの治療に使うような機械で括約筋に刺激を与えて治療します。これは尿の回数が多くて困つておられる患者さんにも有効です。

处置

処置

お腹のレントゲン写真やCTMRIを撮って、さらに詳しく腎臓・尿管・膀胱・前立腺・精巣の状態を調べます。当院では放射線科の協力を得て可能な限り直ぐに検査を行うようにしており、他の病院では一般的に2～3週間先になる前立腺のMRI検査も早ければ当日に受けて頂くこともあります。

手術などに関して

前立腺癌の診断のための牛検査などの小手術を行っていますが、当院では常勤の麻酔科医が在籍しておりますので、安心して受けて頂くことができます。

(図4)

近年非常に増えている前立腺癌のスクリーニング検査であるPSA測定も行っております。男女問わずおしつこのトラブルだけではなく上記のような色々な疾患に対応しておりますので、お気軽にご相談下さい。

看護部

当院には、急性期病棟(東2階、東4階)、地域包括ケア病棟(東3階)、回復期リハビリテーション病棟(中央3～5階)があります。

今回は、急性期病棟および地域包括ケア病棟について紹介させていただきます。

東4階 急性期

45床

全疾患(内科、循環器内科、消化器内科、整形外科、脳神経外科、外科)の患者様を受け入れる**急性期病棟**です。

発症から状態が改善するまでの治療期間中、日常生活の援助などを含む看護を行っています。

また、**手術やカテーテル検査、人工呼吸器の管理**なども行っています。

様々な知識・技術が必要となるため、スタッフ同士で**勉強会**などを開催し切磋琢磨しています！

また、入院という環境の変化などの不安に対し、**寄り添う看護**を心がけ、**よりよい療養生活**の提供をめざしています！



東3階 地域包括 ケア

48床

治療終了後、自宅や施設へ戻るための支援をする病棟です。

入院中は、身体機能の維持を目的としたラジオ体操などの**運動**や、**レクリエーション**などの**集団リハビリ**を毎日1時間程度実施しており、患者様からも好評です！

また、看護師でのリハビリも実施しております、主に歩行練習などを行っています。

患者様もご家族様も**笑顔**になれるような看護を目指しています！

ご自宅で生活されている患者様の**レスパイト入院**も受け入れています。



当院では、ご自宅で介護をされているご家族様の負担を軽減して頂くため、**レスパイト入院**の受け入れをしております。

急性期治療を必要としない患者様に対して、ご家族様にお休みいただく等の理由で

期間を定めて(数週間～2ヶ月程度)入院での対応が可能な場合があります。
お気軽にご相談ください。

東2階 急性期

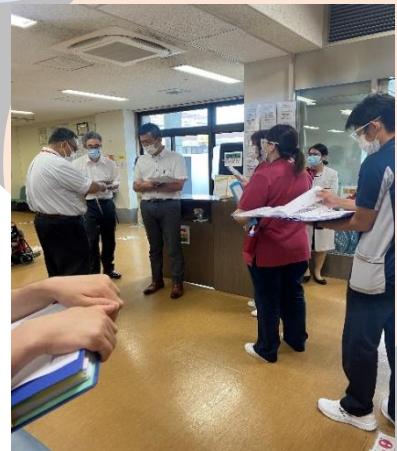
COVID-19感染症やコロナ疑いの患者様を受け入れる感染病棟です。

そのため、**防護服**を着用し**隔離対応**をしています。
COVID-19感染症が流行していますが、感染対策を徹底し
「感染しない！感染させない！」を合言葉に、
みんなで力を合わせて頑張っています！



病院機能評価受審に向けて

病院機能評価とは・・・病院機能評価機構が中立的・科学的・専門的な見地で提供される医療について評価をおこない、病院の質改善活動を支援するツールです。
一定の水準満たすと【認定病院】となります。



地域の皆様に安全で安心な医療を提供できるよう、当院では本年度に**病院機能評価**の受審を予定しています。また回復期リハビリテーション病棟においては、**高度・専門機能評価**も併せて受審予定です。こちらを受審するには一定の要件を満たし、なおかつ、**組織運営・各職種の専門性・チーム医療によるケア**等が高い水準を維持していることが条件となっています。

受審に向けて委員会を立ち上げ会議を重ねています。コロナ禍の影響で当初予定していた時期よりも大幅な遅れが生じていますが、意気消沈することなく各部署各個人が意識を高め、**病院の質向上**に日々取り組んでいます。

これからも、**医療の質と安全の向上**を目指していきます。

新型コロナワクチン接種についてのご案内

看護師さんにインタビュー！

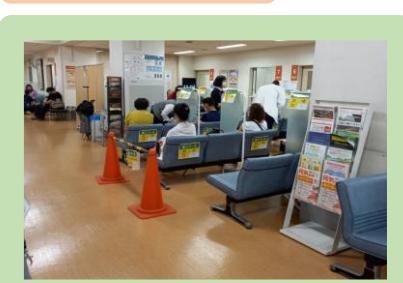


ワクチンを接種すると心筋炎や心膜炎になると聞いたのですが....。

ワクチン接種後発症するのはごく稀です。発症しても軽症の場合が多く、心筋炎や心膜炎のリスクがあったとしてもワクチンを打つメリットはあると言われています。

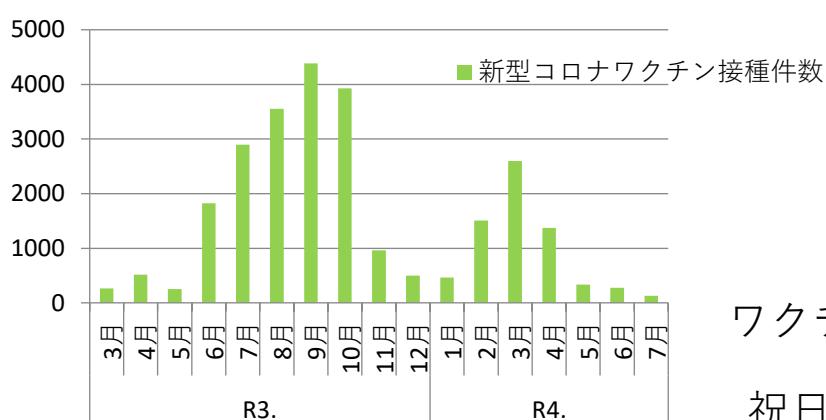
追加接種にはどんな効果がありますか？

高齢者や基礎疾患を持っている方が感染すると重症化することが分かっているので、重症化予防の目的のため、追加接種を行った方がよいとされています。



R3.3.29から新型コロナワクチン接種を開始して、約1年半が経ちました。
当院での新型コロナワクチン接種件数は、25,774件です。

当院での新型コロナワクチン接種件数



ご希望の方はお気軽に
お問い合わせください。



ワクチン予約専用電話 080-4657-1682
080-3561-0881
祝日を除く(月)～(金) 9：00～17：00

病院ホームページのご案内

LINE 公式アカウント

はくほう会セントラル病院では、ご利用いただく述べる方に、見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるように、ホームページ、SNSを随時更新しております！
また、日々更新、最新情報を掲載するように努めています。



スマホをお持ちの方はQRコードから

はくほうかい

<http://www.amahakuho.jp/>



facebook



(Facebook, Inc.)



Instagram



地域の医療を支える仕事 一緒に働いてみませんか

職員募集中！



はくほう会セントラル病院 採用
職員採用情報はくほう会セントラル病院
リクルートサイトへ



看護師・管理栄養士・リハビリ・社会福祉士・介護員 などなど多くの職種・お仕事があります！



詳細はホームページをご覧になるか、直接お問い合わせください。

おせっかいが世界を変える

おせっかいはありがた迷惑とも言われますが、相手に喜んでもほしい、何かしてあげたいという行動です。



プラスハートアクションとは

「お手伝いをする、したい人」にマークがあれば、「助けを必要としている人」と「お手伝いをする、したい人」がお互い声をかけやすくなり、助け合いが当たり前にできる世の中を作っていくと発案された運動であり、信頼・調和・ゆらぐことのない愛を意味する をシンボルとしています。

私たちは、マスクに をつけてこの運動を発信しています。

再エネ100宣言 RE Action

RE Actionは、2050年までに再生可能エネルギーで事業のエネルギーの100%を賄うという取り組みです。

伯鳳会グループは、全国の医療業界からただ一つの
スターティングメンバーとして、この取り組みに参加しました。

【編集後記】

今年7月に、国内のコロナ感染者数の累計が1000万人を超みました。感染者数は増え続け、9月にはついに2000万人となりました。今まで「知り合いの知り合いがコロナになった」程度でしか話を聞きませんでしたが、近頃は更にコロナを身近に感じるようになり、日に日に増していく感染力の高さに戦々恐々としています。

社会交流が希薄化し、国内に限らず世界でも暗いニュースが続く中で、精神的に不安定になってしまうこともあるかと思います。私自身、3年経った自粛生活も未だ慣れたとは言えません。家に帰れば両親が話しあなってくれることを、とても心強く感じます。

そんな中、あるお笑い芸人がプロ野球選手となったというニュースを見ました。一度はケガで挫折し、お笑い芸人として活躍していた彼ですが、ようやく元々の夢を叶えることができたそうです。彼は常常、テレビで「やればできる」と力強く言っています。それを心の底から明言できるほどの自信が自分にあるわけではありません。しかし、やらなければ何も始まらないということを改めて気付かされました。

なにかを始めるのに環境も年齢も関係ない。一步踏み出す勇気をもらえた気がします。

はくほう会セントラル病院 広報委員会



医療法人伯鳳会
はくほう会セントラル病院
兵庫県尼崎市東園田町4丁目23番1号
TEL : 06-4960-6800 (代表)
FAX : 06-4960-6900